

(仮称)長崎恐竜博物館 実施設計について

1 建物イメージ図

(1) 南側から見た図



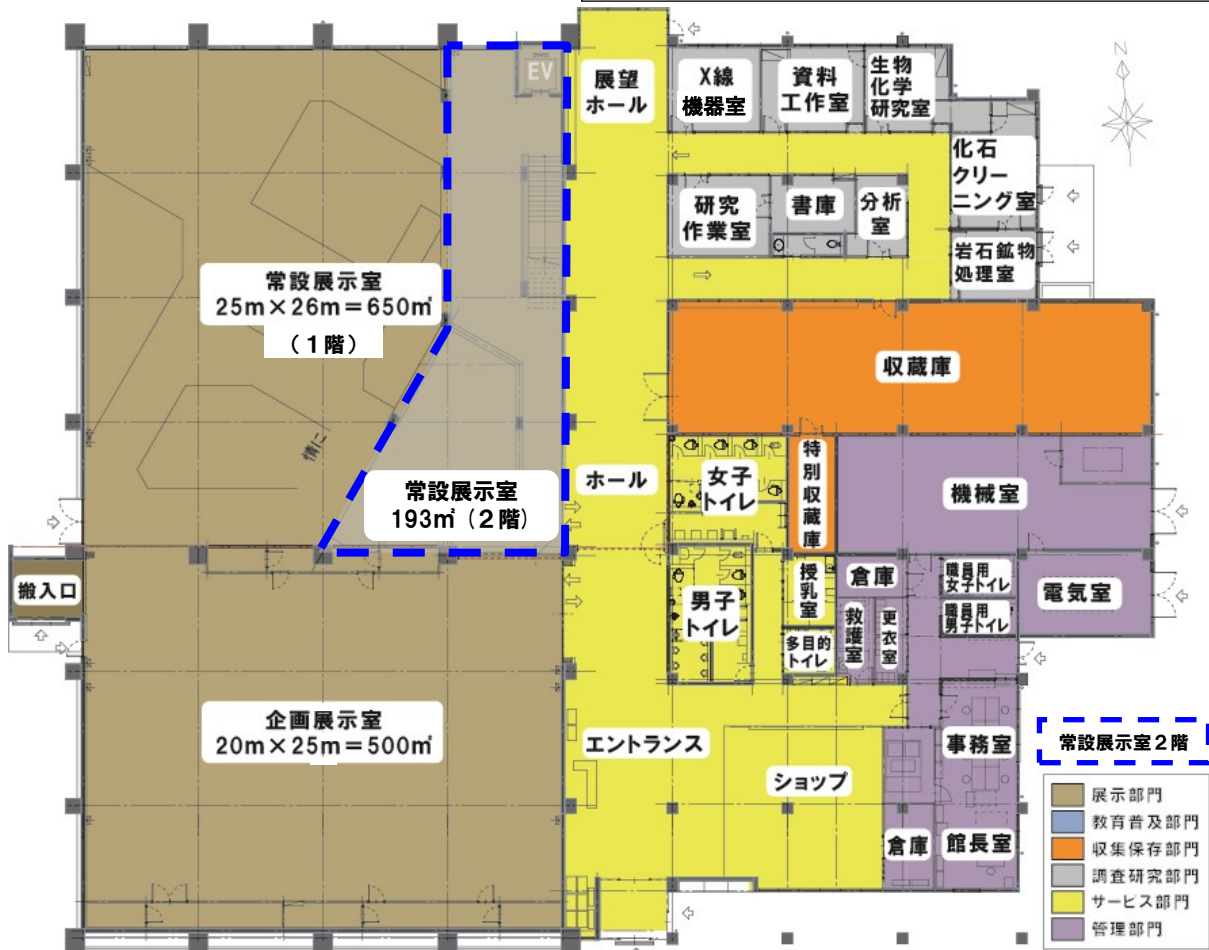
(2) 北側から見た図



2 平面図及び立面図

(1) 平面図

構造：鉄筋コンクリート造り一部2階建て
敷地面積：約4,400㎡



1階延床面積 2,401㎡、2階延床面積 193㎡、合計 2,594㎡

(2) 立面図

南側立面図



北側立面図



東側立面図



西側立面図



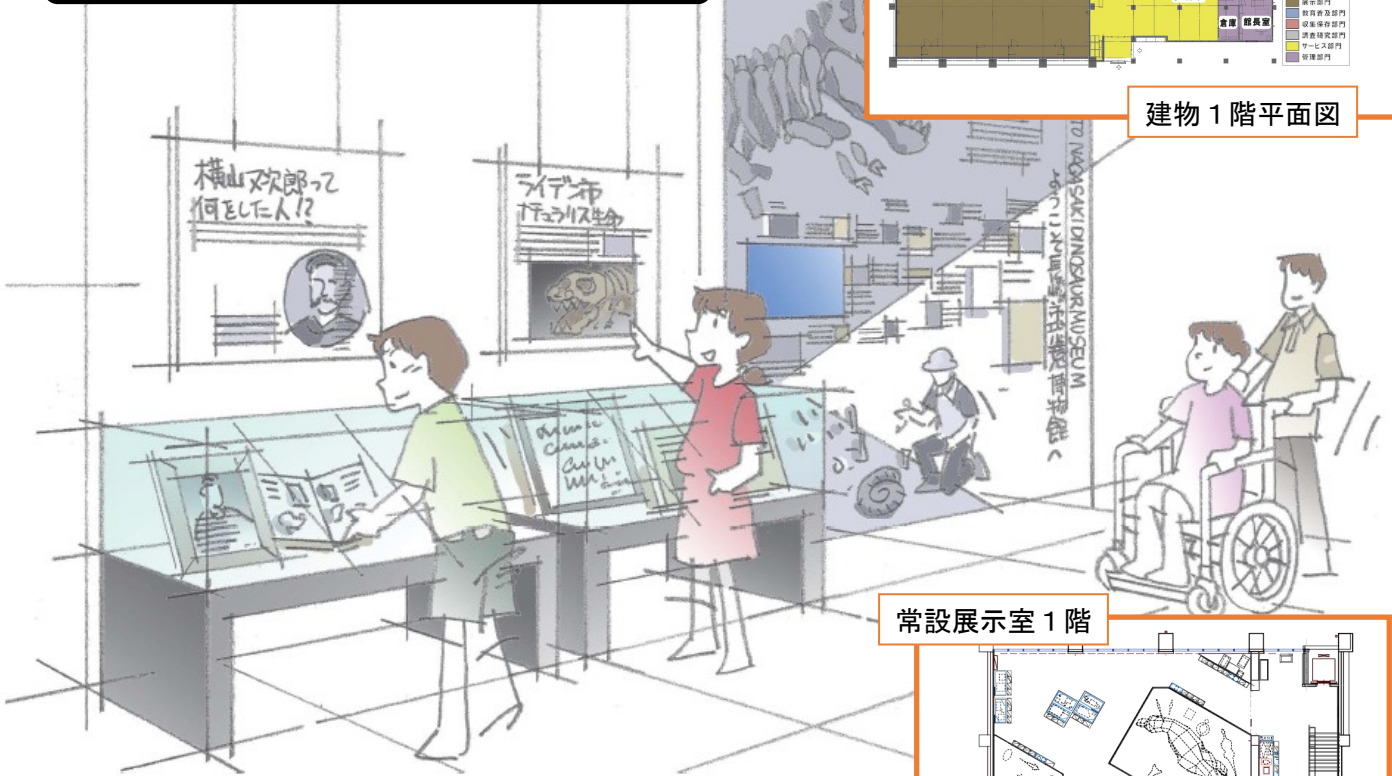
3 展示イメージ図

➡ : イメージ図の視点の向き

エントランス

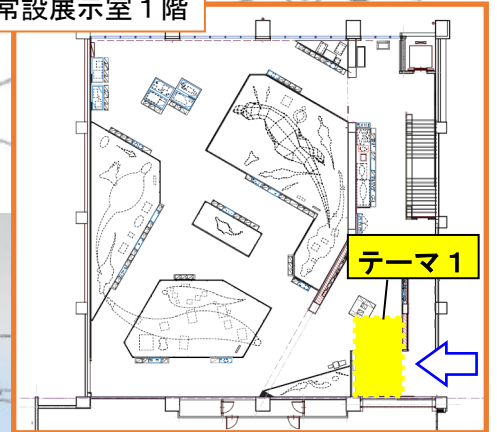
館全体のウェルカム空間

長崎の恐竜研究史や他館との提携などを紹介



建物1階平面図

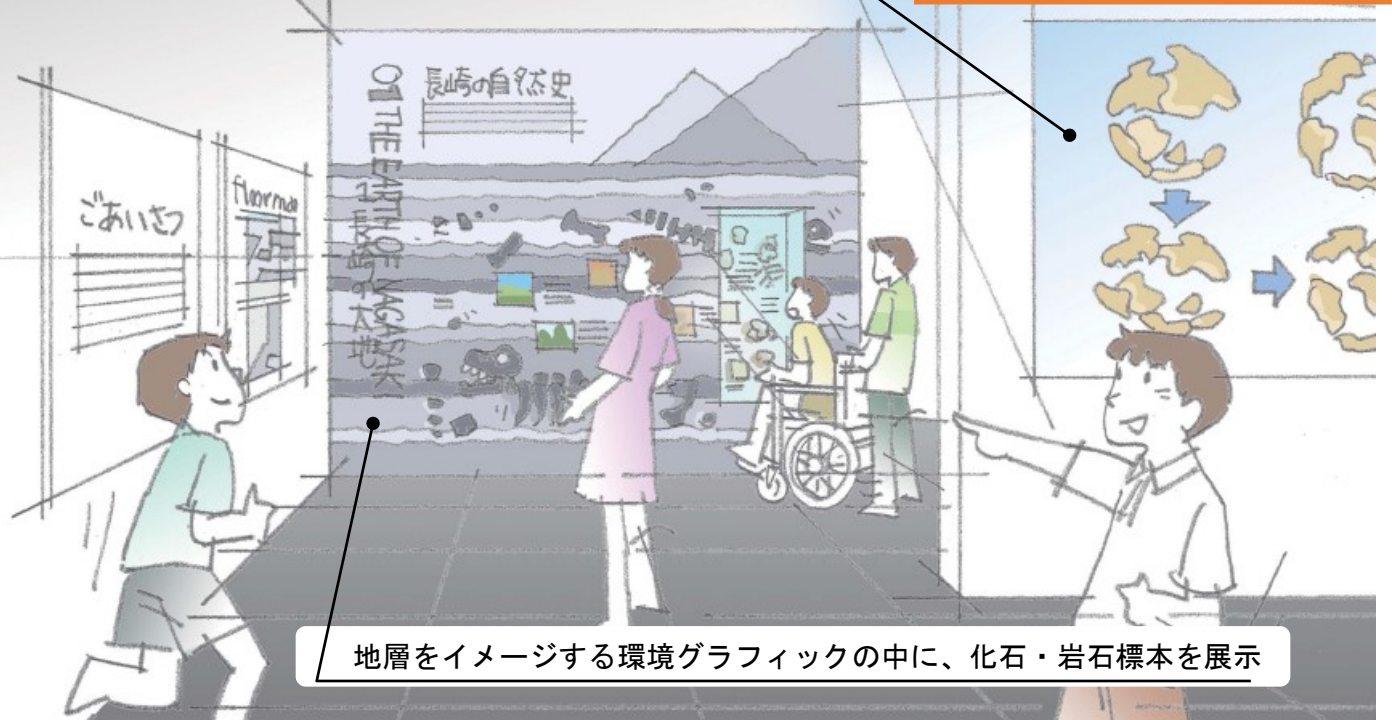
常設展示室1階



テーマ1 : 長崎の大地

古代へといざない、期待感を醸成する導入空間

プレートテクトニクスや長崎の地質図などをプロジェクター映像で紹介



地層をイメージする環境グラフィックの中に、化石・岩石標本を展示

テーマ2 : 生命の記録

生命の起源や躍動感を感じさせるインタラクティブな展示空間

生物が進化の中で、目、口（顎）、四肢など、生きるための機能を獲得して他者よりも優位に立つことで繁栄したことを、標本やハンズオンから学ぶ



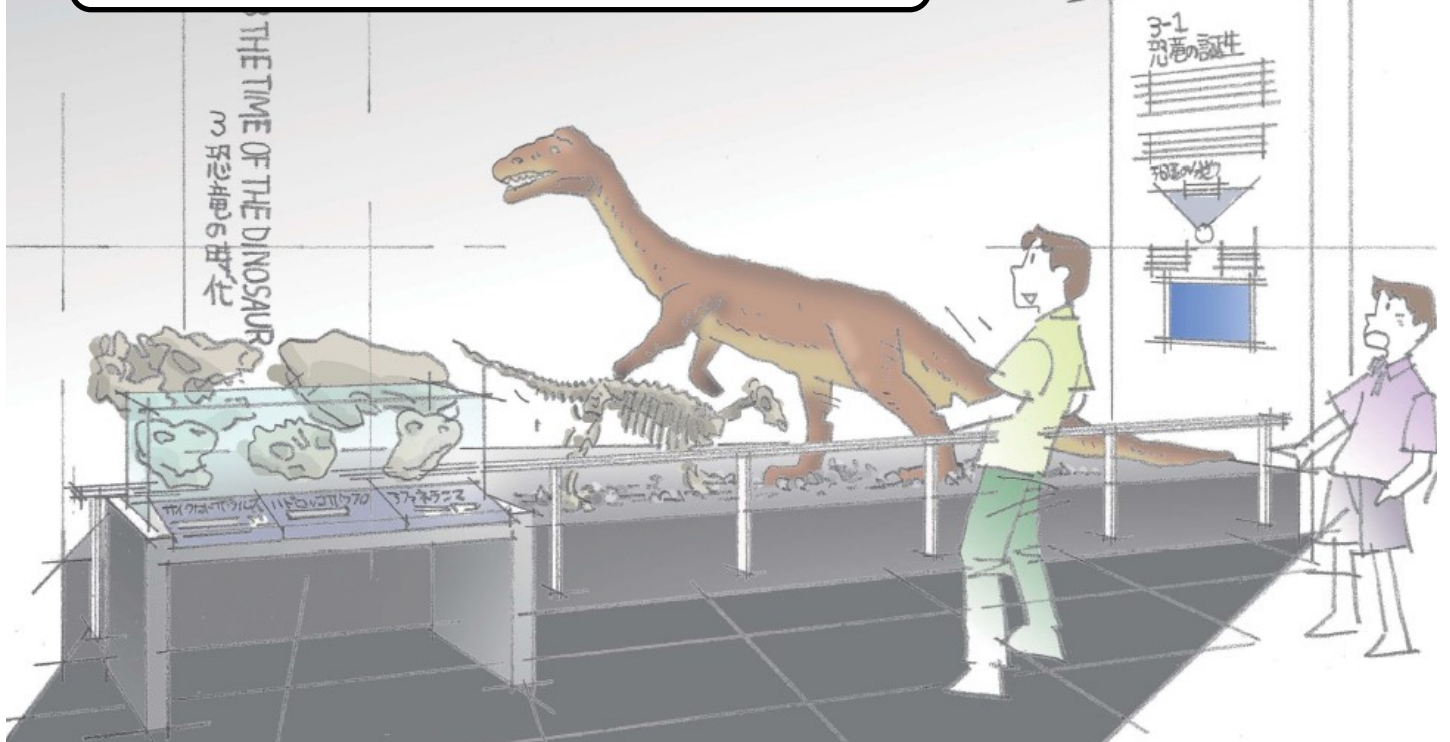
常設展示室 1階



テーマ3 : 恐竜の時代

狭い通路からひらける大空間への入口

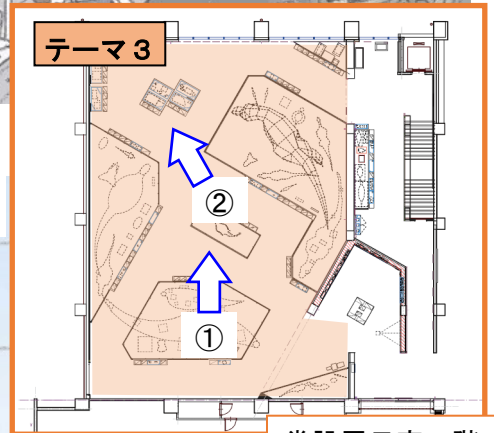
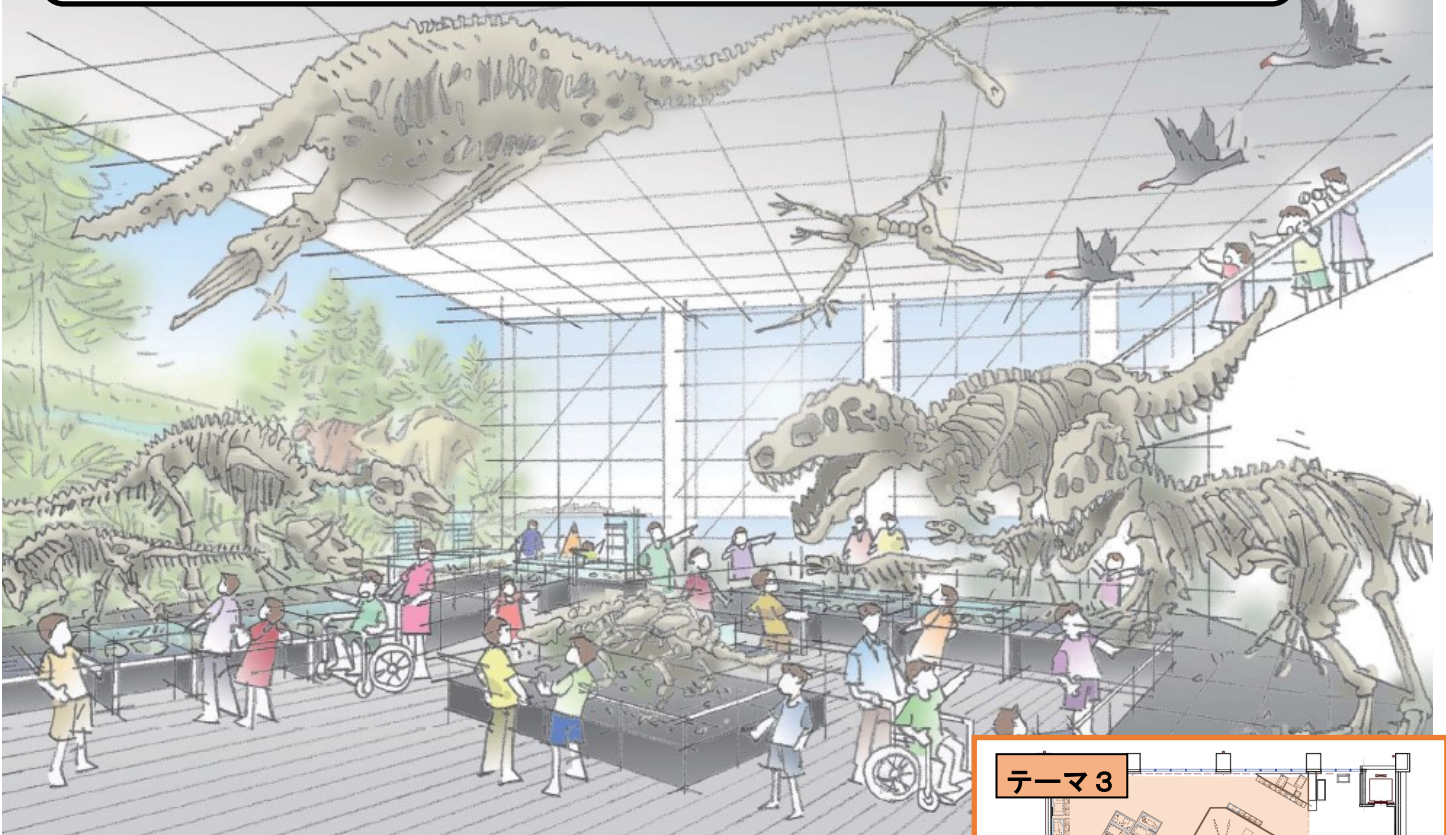
最初期の恐竜を用いて他の生き物と何が違うのか、また、なぜ恐竜がその後に繁栄したのかを紹介



テーマ3 : 恐竜の時代

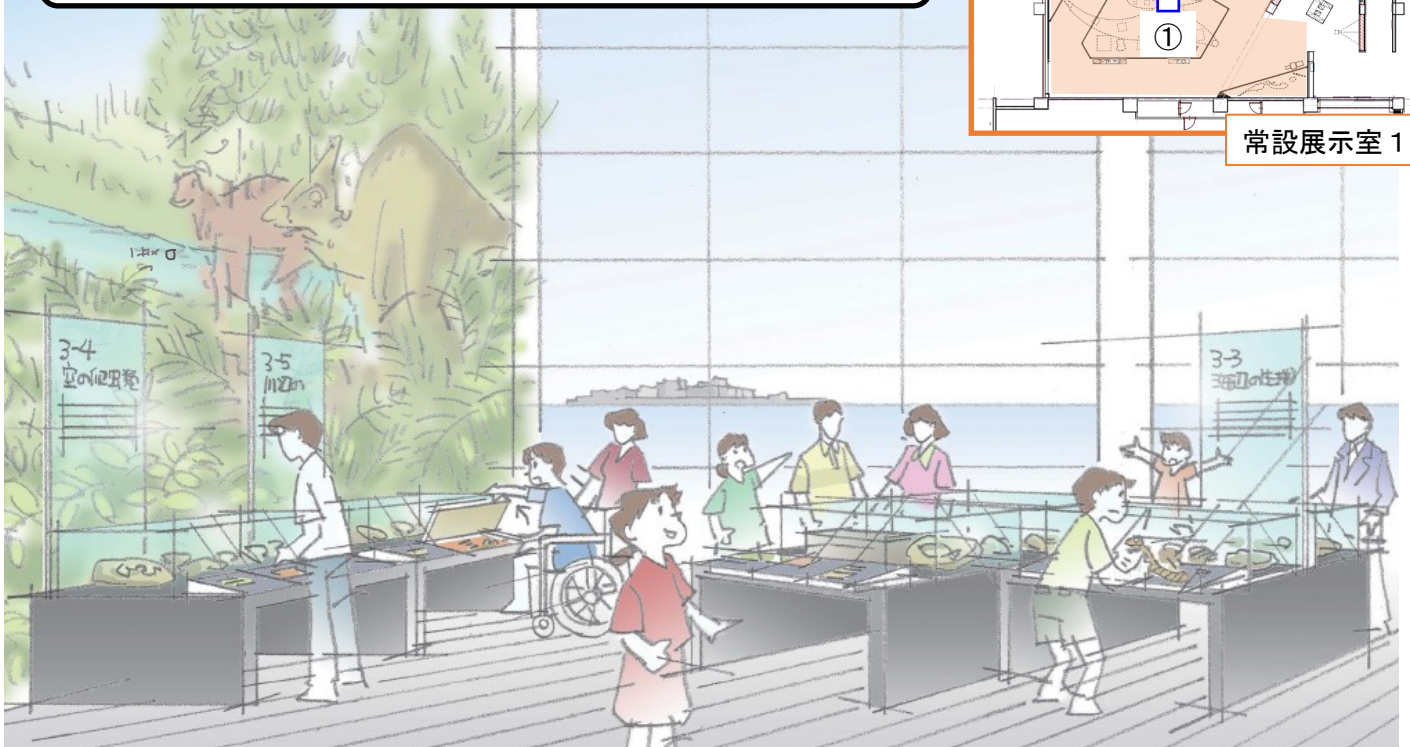
さまざまな恐竜たちが同時に望める大空間で驚きを演出 ①

- ・長崎市で発見されている化石を中心に、恐竜の全身骨格を数多く紹介
- ・恐竜博物館のシンボル展示としてティラノサウルスの生態や進化に焦点を当てた展示



軍艦島の景観と、海、空、川の多様な古代の生き物の世界に入り込む ②

海辺の生き物、空の爬虫類、川辺の生き物について、九州で発見されている化石を中心に恐竜時代の生態系を紹介

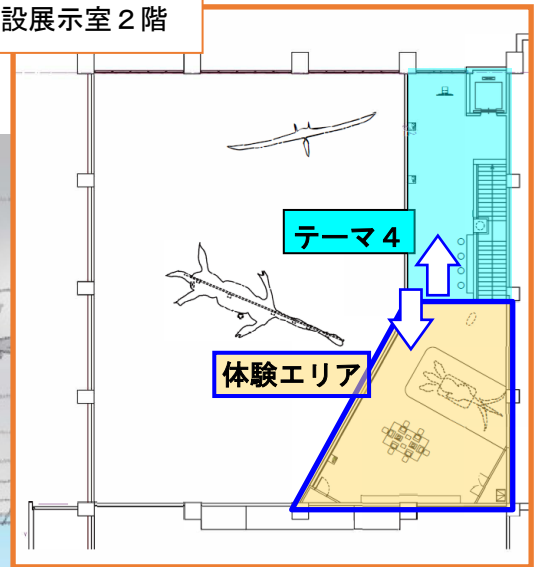


テーマ4 : 現代の恐竜たち

常設展示室2階

現代と古代とのつながりを感じさせ、余韻に浸れる場

人が絶滅させた鳥類、長崎市の希少鳥類、身の回りの鳥類を紹介



体験エリア（2階南側）

展示室全体を眺望しながら、体験で楽しみ学ぶ場

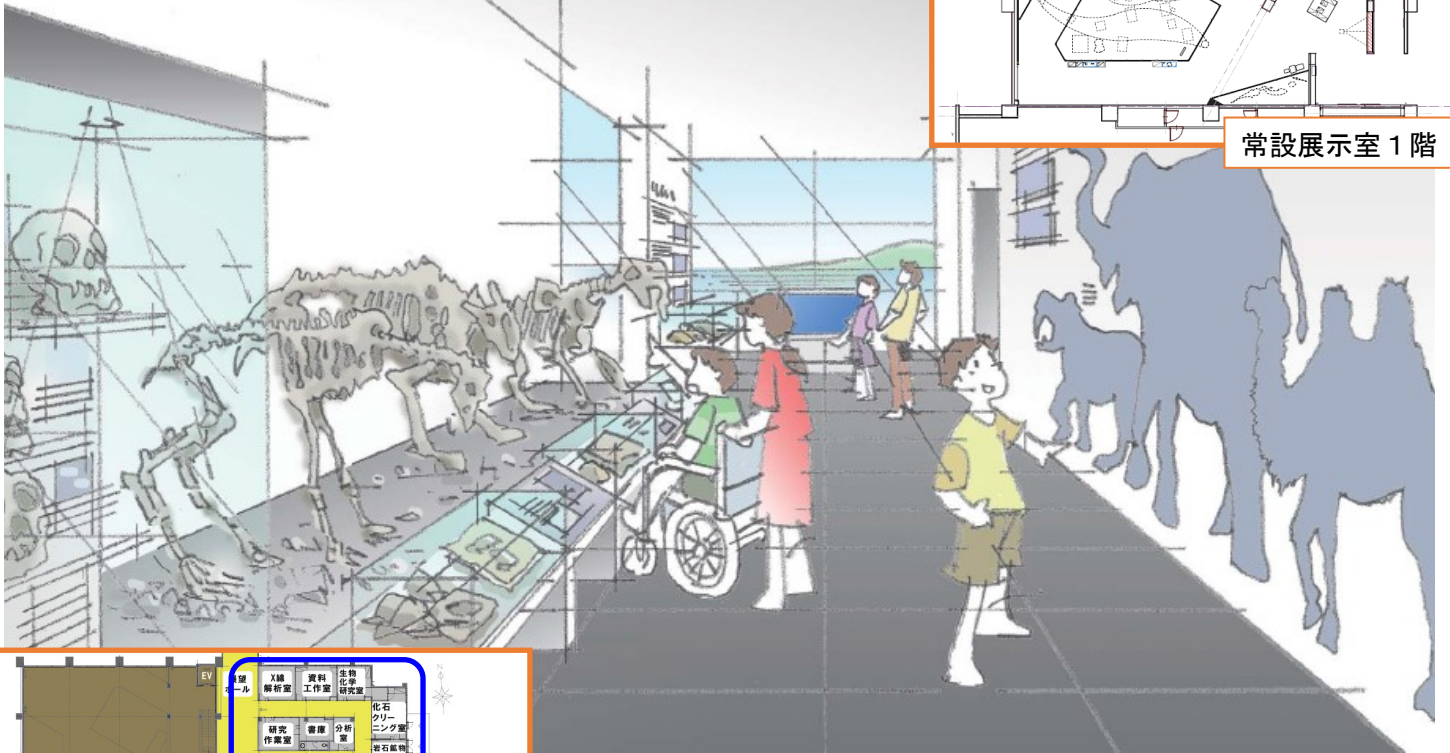
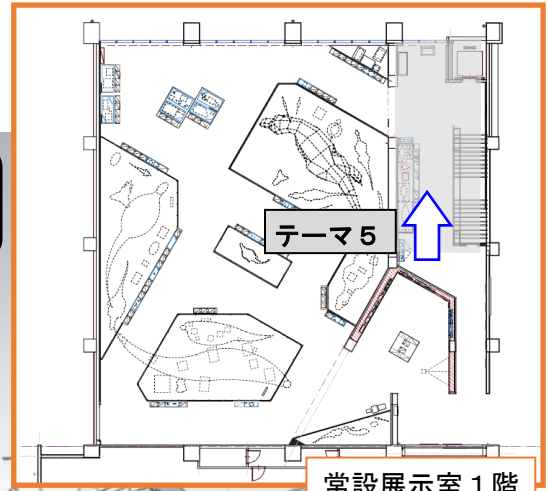


常設展示のふりかえりと、恐竜ロボットなどで恐竜世界を楽しみながら学ぶ場

テーマ5 : 燃える石の時代

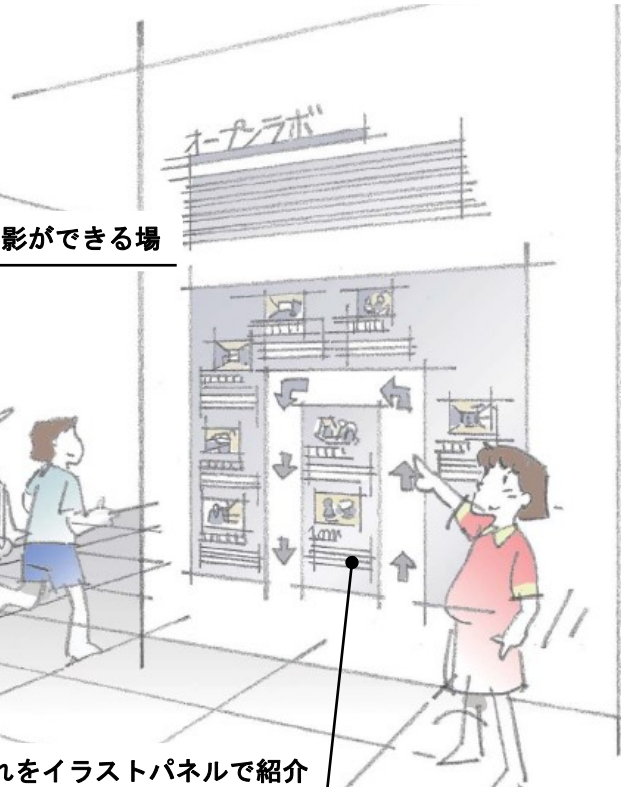
古代から現代につながる動物の様相を景観とともに感じる場

長崎の石炭について理解を深めてもらう展示や、恐竜の時代の後の哺乳類の進化について紹介



調査研究施設を公開(オープンラボ)

博物館を支える長崎市化石研究の現場を疑似体験できる場



来館記念に写真撮影ができる場

発掘現場～ラボの作業の流れをイラストパネルで紹介

常設展示室全体イメージ図

